

JCOMM 特別企画

「地方民間鉄道がんばろう！～地方鉄道におけるMMの役割と今後の展望」

1. 企画主旨

地方の民間鉄道は地方中核都市や山間部を走り、地方住民の“暮らしの足”となっている。しかしながら、地方の民間鉄道の沿線では、人口の過疎化や自動車交通の発達などから、鉄道の輸送人員の減少に歯止めがかからず、経営は苦しいものとなっている。その結果、残念ながら廃線に至った路線もある。

一方で、創意工夫で逆境に立ち向かっている地方の民間鉄道会社もある。イメージキャラクターの活用による話題創出、沿線住民との多様かつ積極的な連携等により、逆境に果敢に挑戦し、地方の鉄道を活気づけ、そして地域全体の活力へとつなげている。そこにはMMの基本とするところである「コミュニケーション」の存在が大きい。その上で、地域の足としての役割を果たすため、様々な経営努力が展開されている。

本企画セッションでは、これまでに地方鉄道の活性化に果敢に挑戦してきた民間鉄道会社の皆さんと一緒に議論し、地方民間鉄道におけるMMの役割、またそれらを踏まえた地方民間鉄道の今後の展望を探る。

2. パネルディスカッション

コーディネーター：	中川 大	京都大学大学院教授
パネリスト：	上田電鉄株式会社	代表取締役社長 角田 朗一 氏
	江ノ島電鉄株式会社	代表取締役社長 深谷 研二 氏
	三陸鉄道株式会社	代表取締役社長 望月 正彦 氏
	和歌山電鐵株式会社	代表取締役専務 磯野 省吾 氏

(社名五十音順)